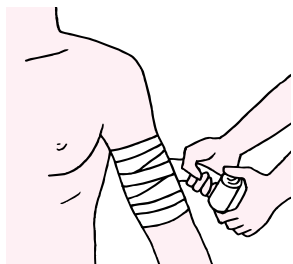


骨折

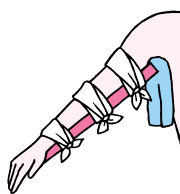
- ・骨が折れる音がしたか（本人に確認）
- 患部の腫れがあり、不自然な変形や曲がり、激痛
- ➔患部の手当と固定。119番または整形外科などへ



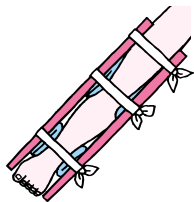
a 手首・前腕



b 上腕



c ひじ



d 下肢

- 1 開放性骨折（傷口から骨が見える、突き出ている）か、皮下骨折（露出なし）かを確認。
- 2 開放性骨折の場合は、まず傷口にガーゼなどをあて、その上から包帯でぐるぐる巻きに。骨が突き出ているなら、その周りにガーゼなどを積み重ね、骨を圧迫しないように巻く。
- 3 骨折部に^{ふくぼく}副木をあてて固定。a 手首・前腕 b 上腕 c ひじ d 下肢など、箇所別の固定方法（図参照）で。適当な木がなければ、段ボール、雑誌、傘などで代用。
- 4 ショックや痛みによる顔面蒼白、震え、冷や汗がみられたら毛布などで保温。



*骨折かどうかの判断がつかない場合も、骨折と考えて応急手当を。

*骨折部の保護と副木固定を行うことで、^{とうつう}疼痛、腫れ、傷口からの細菌感染を最小限に抑えることができます。

*首、背骨（^{せきつい}脊椎）、骨盤の骨折が疑われるときは、硬い床に仰向けに寝かせて患部を動かさないように固定。
意識と呼吸の状態に注意して救急車の到着を待つ。

